

198人が最高の名誉獲得に挑む



茨城県「水戸葵支部」が10m男女・8m・6mの4部門を制覇

「スポーツ吹矢を国民的スポーツに育てたい」「いつの日かスポーツ吹矢をオリンピックの種目のひとつにしたい」。そんなスポーツ吹矢創始者・青柳清の念いを引き継ぐ「第3回 青柳清杯スポーツ吹矢大会」(一般社団法人スポーツ吹矢振興協会主催)が9月23日、東京都中央区立総合スポーツセンターで開催されました。東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、山梨、山形、新潟、静岡、愛知の11都県から198人の吹矢アスリートが参戦、実りの秋に心技練磨の成果を競い合いました。トップクラスの強豪が集結した10m男・女は茨城県「水戸葵支部」の佐藤義明五段、芳江五段ご夫妻が優勝、今年5月の「第5回 日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」の10m男・女に続きご夫婦で主催大会連覇を果たし、会場を沸かせました。

10m男子は茨城県の
佐藤義明五段が
204点で連覇達成!!

2位は千葉県の柏尾由明六段、「流山市フジタカ支部」の192点、3位は埼玉県の下野和朗七段、「フリーダム川口支部」の186点でした。

しました。

競技は10m男子、10m女子、8m(男女混合)、6m(同)そして8mの「マスターズ75」(75歳以上の男女混合)の5種目、一人6Rの合計得点(満点210点)を競い合いました。

10m女子は茨城県の
佐藤芳江五段が198点で優勝
ご夫婦で頂点に並ぶ



▲11都県から198人の強豪が集結し、心技練磨の成果を試す熱戦が展開された

「マスターズ75」は
194点で優勝

3位は静岡県の岡本浩明二段(フリー参加)の188点、6mの2位は埼玉県の近満さん(フリー参加)の198点、3位は埼玉県の富田豊さん(フリー参加)の194点でした。

佐藤ご夫妻は今年5月の「第5回 日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」10m男・女の優勝者でもあり、振興協会主催大会をアベックで連続制覇する偉業を成し遂げました。

2位は千葉県の赤澤延枝六段、「流山市フジタカ支部」の190点、3位は東京都の大河原玲子四段、「HAPPY堀船支部」の182点でした。

8mは茨城県の石毛和一初段が
196点で優勝
6mも茨城県の吉田寿治1級が
200点で制覇

「マスターズ75」は、栃木県の大武光子初段「矢板中の支部」が194点で優勝。大武初段は今年5月の「第1回スポーツ吹矢栃木県大会」の同クラスを198点で優勝した実力者。

2位は埼玉県の下司義雄三段、「南越谷支部」の188点、3位は千葉県の酒巻平六段で共に188点でした。

「マスターズ75」は、栃木県の大武光子初段「矢板中の支部」が194点で優勝。大武初段は今年5月の「第1回スポーツ吹矢栃木県大会」の同クラスを198点で優勝した実力者。



◎開会式で選手にエールを送る青柳芳英代表理事(写真右上)
◎大会審判長の田村功上級公認指導員(写真左上)
◎田口貴事務局長(左)

「無敵、佐藤義明五段・芳江五段ご夫妻の心技練磨に迫る」
を次号会報で掲載します。

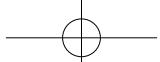


▲振興協会主催大会をアベックで連続制覇した佐藤ご夫妻

8mは、茨城県の石毛和一初段「水戸葵支部」が196点で優勝。石毛初段は「第5回 日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会in流山」6mの優勝者。6mも、茨城県の吉田寿治1級「水戸葵支部」が200点の高得点で初優勝しました。

▲大会ではくじ引きによる特別賞として、青柳代表理事からダイセイコーラジナルの日本酒が贈られました。純米大吟醸「銀座」は矢代 隆三段(フリー参加)へ、純米大吟醸「大成功」は宇内 宜江五段(流山市フジタカ支部)へそれぞれ贈呈されました。





「第3回青柳清杯スポーツ吹矢大会」特集

創始者の念い継ぐ大会 11都県から



振興協会七段の下野和朗師範が八段挑戦を宣言!!



NHKの看板番組「あさいち」でスポーツ吹矢の指導をした下野和朗師範（埼玉県「フリーダム川口」支部長）も大会に参加しました。

右肩が上がらない不調でしばらく左手一本で各大会に参加してきたのは「スポーツ吹矢は障がいがあっても楽しめることを証明したかった」から。

その右腕が徐々に上がるようになり、今大会では久しぶりに「残身」の姿勢がとれるまでに回復。

「振興協会ただ一人の七段位の責任として今年11月18日に八段に挑戦する」と会場で力強く宣言してくれました。

新潟県の曳田宏一六段が見事な基本動作を披露



大会には新潟県の「柳都にいがた支部」の曳田宏一支部長がお仲間3人と参加しました。

大会参加は第1回大会以来2度目。

朝7：02 新潟駅発の新幹線で会場入りしました。

「朝4：30の起床で体が眠っている」と諱遙も磨き上げた六段・上級公認指導員の見事な基本動作を披露してくれました。

障がい者支援
「善行大越スポーツクラブ支部」の岸さん大健闘

大会には障がい者支援の神奈川県「善行大越スポーツクラブ支部」（安西順子支部長）から岸勇輝さんが6mに参加しました。

岸さんは水泳、バスケットなども楽しむスポーツマン。スポーツ吹矢のキャリアはまだ1年足らずですが、先日4級に見事合格しました。



大会参加はこの日が初めて。審判員として見守る安西支部長の前で6Rのすべての矢を的から外さず大健闘しました。

「まだチャレンジできる」と励ましてきた安西支部長も満足そうでした。

◆デビュー戦で大健闘の岸さん(右)と岸さんを励ましてきた安西支部長

大会成績と優勝者コメント

10m男子の部 優勝 204点
佐藤 義明 五段 (水戸 葵支部)

青柳杯2連覇、夫婦で優勝は格別
支部の仲間の入賞はもっと嬉しい
名誉ある青柳清杯を連覇できたうえに夫婦そろって優勝できて格別の喜びです。また仲間の水戸葵支部の皆さんのがたくさん入賞し、こんな嬉しい事はありません。一本一本の矢を大切にして吹く練習を繰り返している事が、大会でも良い結果に繋がっているのだと思います。これからも支部の皆さんと共に楽しくスポーツ吹矢を続けて行きたいです。

10m女子の部 優勝 198点
佐藤 芳江 五段 (水戸 葵支部)

大会会場に居られる嬉しさが私の貴重な財産
支部の練習は楽しく有意義な時間
大会の度にたくさんの元気な皆様にお会い出来ること、そして会場に居られることが私の大きな財産です。水戸葵支部の練習は、とても楽しく、有意義な時間です。大会では最後の1本まで、いつも私の中の何かに期待して望んでいます。これからも水戸葵支部の皆さんと「楽しくなければ吹矢じゃない」を実践していきます。

8m男女の部 優勝 196点
石毛 和一 初段 (水戸 葵支部)

集中力と呼吸を大切に一射一射を丁寧に技術磨き、もっと高みを目指す
権威のある青柳清杯8mの部で優勝することができて大変うれしく思います。大会出場は今回で2回目になりますが、前回よりも緊張しました。そのような心境のなかでも日々の練習の成果を出すべく集中力と呼吸を大切に一射一射を丁寧に重ねた結果が実を結びました。これからも技術を磨き、更に高みを目指して努力します。

6m男女の部 優勝 200点
吉田 寿治 1級 (水戸 葵支部)

経験4か月での優勝は支部諸先輩のご指導の賜物
楽しみながら練習さらに上位狙う
スポーツ吹矢を初めてまだ4ヶ月。大会優勝という栄誉を得られましたのは水戸葵支部の鶴田善明支部長はじめ、諸先輩の暖かいご指導の賜物です。

心より、心より、感謝申し上げます。これからも、楽しみながら練習し、さらに上位を目指します。

マスターズ75の部 優勝 194点
大武 光子初段 (矢板中の支部)

念願の青柳清杯 出場で初優勝
毎日6R×2の練習が実を結ぶ
念願の青柳清杯に出場でき、ご一緒した皆様に感謝申し上げます。思いがけず優勝でき、大変うれしく思います。落ち込む時期もありましたが、毎日6Rを2回練習すると決め、続けていた努力が実を結びました。今後も湯澤支部長のご指導のもと、スポーツ吹矢を通して楽しく充実した人生を歩んでいきたいです。



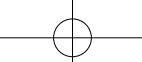
準優勝 (左)	柏尾 由明六段 (流山市フジタカ支部)	192
第3位 (右)	下野 和朗七段 (フリーダム川口支部)	186

準優勝 (左)	赤澤 延枝 六段 (流山市フジタカ支部)	190
第3位 (右)	大河原 玲子四段 (HAPPY 堀船支部)	182

準優勝 (左)	泉 みさ子 二段 (フリーダム川口支部)	190
第3位 (右)	岡本 浩明二段 (フリー参加)	188

準優勝 (左)	近満さん (フリー参加)	198
第3位 (右)	富田 豊さん (フリー参加)	194

準優勝 (左)	下司 義雄 三段 (南越谷支部)	188
第3位 (右)	酒巻 平六段 (流山市フジタカ支部)	188



162支部1478人が列島縦断の交流楽しむ

秋の記録会 各クラス優勝者

※記載の段位・級位は記録会時点のものです。

鶴田 善明五段・上級公認指導員
水戸 葵支部（茨城県）

「全国一斉記録会」連覇は楽しく&真剣に練習した結果

「全国一斉記録会」を連覇できたのは日々の練習の成果だと思いとても嬉しく感じています。支部の仲間と和気あいあいしながらも真剣に練習を重ねた結果です。これからも楽しく吹矢を続けて行きたいと思っています。次回も今回のような得点を目指して励みたいと思います。

10mの部
優勝



石毛 和一初段
水戸 葵支部（茨城県）

支部内の競技で緊張せず、的も良く見て210点満点

初めての記録会参加で優勝することができて大変うれしいです。今回は支部内での競技ということもあり緊張せずに臨めたことが良い結果につながりました。8mの距離ながら210点満点を出せたことも二重の喜びでした。当日は良くてがみえました。今後も支部の皆様のレベルに近づけるよう努力します。

8mの部
優勝



岩本 英治2級
すもとアイアイ支部（兵庫県）

吹矢歴2年で金星、浜辺望支部長の的確なご指導の賜物

吹矢を始めて2年。優勝は特に意識していませんでした。楽しく続けてきました結果だと思います。支部の練習会では浜辺望支部長からの的確なご指導をいただき和気あいあいとした雰囲気の中で結果を残すことができました。今後も楽しみながら技量の向上を目指します。

6mの部
優勝



酒巻 平六段
流山市フジタカ支部（千葉県）

スポーツ吹矢で大病を克服、念願の「日本一」達成

「日本一を目指す」を目標に、日々練習に励んでいます。これまで何度も大病を患いましたが、健康増進のために吹矢を続けています。腹式呼吸の鍛錬や腕の筋力トレーニングを通して体調を整えつつ、これからも楽しみながら練習を重ね、自分が納得できるまで精進してまいります。

マスターズの部
優勝



10mの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	茨城県	鶴田 善明	水戸 葵支部	35	33	35	35	35	35	208
2	茨城県	佐藤 義明	水戸 葵支部	35	35	35	35	35	33	208
3	茨城県	藤田 富代	潮来支部	33	35	33	35	35	33	204
4	茨城県	薄井 喜一	水戸 葵支部	35	33	33	33	33	35	202
5	高知県	野村 千城	岩村支部	33	35	33	33	35	33	202
6	千葉県	広渡 栄一	東習吹矢会支部	35	35	35	31	31	33	200
7	鹿児島県	上甫木 勇	鹿屋中央支部	35	33	35	31	35	31	200
8	長野県	平川 三知子	信州ききょう支部	35	31	31	31	35	35	198
9	茨城県	門脇 敏夫	牛久かっぱの里（中央）支部	35	31	33	27	35	35	196
10	茨城県	佐藤 義徳	古河せせらぎ支部	33	35	31	31	31	35	196
11	千葉県	花井 勇太朗	千葉若葉桐花支部	33	31	35	31	35	31	196
12	群馬県	福島 幹雄	箕輪城支部	33	35	35	29	33	31	196
13	長野県	北澤 紀子	信州ききょう支部	31	33	33	33	31	35	196
14	山形県	内藤 賀代子	寒河江支部	35	33	29	33	33	33	196
15	茨城県	山本 栄一	取手かわせみ支部	33	31	33	35	31	33	196
16	神奈川県	高橋 晴子	新鶴見支部	35	31	33	33	33	31	196
17	神奈川県	井口 友好	新鶴見支部	33	33	35	31	33	31	196
18	茨城県	山口 富男	笠間中央支部	35	27	31	33	33	35	194
19	千葉県	西川 敏幸	流山市フジタカ支部	31	33	35	27	33	35	194
20	千葉県	広渡 康代	東習吹矢会支部	33	33	31	29	33	35	194
21	神奈川県	高梨 光正	新鶴見支部	33	27	33	33	35	33	194
22	新潟県	近藤 幸敏	柳都にいがた支部	33	35	33	29	31	33	194
23	千葉県	小野 肇仁	おおたかスポーツコミュニティ流山	35	31	31	33	33	31	194
24	千葉県	中谷 純子	成田ブローガンクラブ（BGC）支部	33	31	33	33	31	33	194
25	奈良県	田伏 広充	奈良生駒支部	33	31	33	33	33	31	194

全国すべての支部、愛好者が練習場から参加できる振興協会の「全国一斉記録会」は回を重ねるごとに参加支部、参加者が増えサード・シーズンの秋の記録会には1500人に迫る1478人の吹矢アスリートが参加、記録会は列島縦断の最大の交流大会に育ちました。参加者からは「全国順位は心技練磨の目標になる」「全国の仲間と交流できる唯一無二の大会」との声が事務局に寄せられ、集計に汗を流す事務局の励みになっています。

「高知県から始めの一歩」野村千城六段10m全国5位

10mの優勝と準優勝は今、勢いに乗る
「水戸葵支部」のエース2人が独占しました。
が3位には冬の記録会（2023年12月）を制覇した茨城県の藤田富代五段
「潮来支部」が204点と優勝に4点差で食い込みました。

茨城県の薄井喜一五段「水戸葵支部」は

10mの優勝と準優勝は今、勢いに乗る
「水戸葵支部」のエース2人が独占しました。
が3位には冬の記録会（2023年12月）を制覇した茨城県の藤田富代五段
「潮来支部」が204点と優勝に4点差で食い込みました。

8mも上位は高得点。準優勝は204
5段が4位、野村六段が5位となりました。
「高知県から始めの一歩」を踏み出し
た野村六段は早くも実力を全国に示しました。

6mは1~4位までが206点の同
点、10位までが200点以上とこれらも
高得点の大混戦。規定により準優勝は兵
庫県の宇城恵一2級「すもとアイアイ支
部」。3位は茨城県の藤橋尚子さん「な
こそ吹風支部」、4位が埼玉県の馬場俊
行さん「騎西スポーツ吹矢俱楽部」

となりました。

6mは1~4位までが206点の同



「楽しくなければ吹矢じゃない」

8mの部

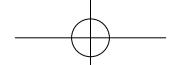
順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	茨城県	石毛 和一	水戸 葵支部	35	35	35	35	35	35	210
2	福島県	渡部 仁子	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	33	35	33	35	35	33	204
3	宮城県	郡司 貞雄	宮城名取が丘カーナ支部	33	33	35	35	33	31	200
4	岐阜県	石崎 栄子	岐阜・西濃広域支部	33	33	35	31	33	33	198
5	神奈川県	重本 政幸	ピュレ並木支部	35	33	33	33	31	33	198
6	茨城県	石井 直人	土浦西支部	31	31	33	31	35	35	196
7	茨城県	藤澤 アキ子	日立かねはなた支部	33	31	35	33	29	35	196
8	福島県	佐藤 敏	きたかた山都支部	35	31	31	35	31	33	196
9	愛知県	二村 彰彦	ほのくに豊橋支部	35	35	31	29	29	35	194
10	奈良県	谷本 均	奈良せいわ王寺支部	33	35	29	29	33	35	194
11	茨城県	天田 功	日立なごみ支部	31	31	31	35	33	33	194
12	埼玉県	岩田 忠男	秩父支部	35	33	31	31	31	33	194
13	神奈川県	千葉 浩司	横須賀ハマユウ支部	33	29	33	33	33	33	194
14	茨城県	塙 富治	霞ヶ浦山百合支部	31	33	33	33	31	33	194
15	岐阜県	小木曾 博	チーム瑞浪支部	31	35	35	35	27	29	192
16	福島県	坂上 宏幸	みちのく白河支部	31	31	35	31	31	33	192
17	熊本県	田中 純子	熊本合志支部	33	29	31	35	33	31	192
18	茨城県	岩見 正子	桜川スマイル支部	29	33	33	35	33	29	192
19	茨城県	宇佐美 洋子	日立諏訪支部	33	31	31	35	33	29	192
20	栃木県	大桶 冬樹	矢板ながみね支部	31	31	35	33	33	29	192
21	茨城県	地主 興二	日立かねはなた支部	33	31	33	31	31	33	192
22	茨城県	松浦芳治	霞ヶ浦山百合支部	33	31	31	33	33	31	192
23	岐阜県	辻 真弓	可児サクラ支部	31	33	33	31	33	31	192
24	福島県	五十嵐 文孝	きたかた山都支部	31	33	33	33	31	31	192
25	京都府	岡崎 勝弥	高野吹矢クラブ支部	33	29	25	35	35	33	190

6mの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	兵庫県	岩本 英治	すもとアイアイ支部	31	35	35	35	35	35	206
2	兵庫県	宇城 恵一	すもとアイアイ支部	35	35	31	35	35	35	206
3	茨城県	藤橋 尚子	なこそ吹風支部	35	33	35	33	35	35	206
4	埼玉県	馬場 俊行	騎西スポーツ吹矢俱楽部支部	35	35	33	35	35	33	206
5	岐阜県	向坂 弥生	可児下恵土 ONE支部	35	31	35	35	35	31	202
6	茨城県	吉田 寿治	水戸 葵支部	35	35	31	35	33	33	202
7	岐阜県	生田 邦雄	ひだ高山支部	33	35	33	33	33	35	202
8	岐阜県	老田 弘子	ひだ高山支部	33	33	33	35	35	33	202
9	兵庫県	橋本 鑑	すもとアイアイ支部	35	33	31	33	35	33	200
10	山形県	鈴木 伊勢雄	チーム平野支部	35	35	33	33	31	33	200
11	東京都	設永 健吉	北区中央クラブ支部	31	29	35	35	35	33	198
12	栃木県	阿久津 美咲	矢板ながみね支部	33	31	33	31	35	35	198
13	神奈川県	森田 良雄	都筑吹き矢楽しむ会支部	33	33	31	31	35	35	198
14	茨城県	佐藤 美津子	日立諏訪支部	31	31	35	33	33	35	198
15	茨城県	藤井 しげり	桜川スマイル支部	33	35	33	29	35	33	198
16	福島県	中島 共宣	きたかた山都支部	35	35	29	33	33	33	198
17	群馬県	林 誠行	利根県生協健康吹矢サークル赤谷湖支部	31	31	33	31	35	35	196
18	京都府	大岩 勇二	ピース京都	33	31	35	31	31	35	196
19	岐阜県	中野 ゆり子	可児陽だまり支部	33	35	35	33	29	31	196
20	兵庫県	坂井 秀彰	すもとアイアイ支部	33	33	29	35	33	31	196
21	岐阜県	長谷川 郁子	可児サクラ支部	31	33	33	35	31	33	196
22	京都府	伊藤 忍	高野吹矢クラブ支部	31	33	33	35	31	33	196
23	長野県	中嶋 実	長野シナノキ支部	33	33	33	33	35	29	196
24	岐阜県	河合 ゆき子	チームフレッシュ支部	33	33	33	33	33	31	196
25	神奈川県	須藤 則男	イーグル会海老名支部	27	33	33	35	35	31	194

マスターーズの部

順位	県名	名前	支部名	1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
1	千葉県	酒巻 平	流山市フジタカ支部	35	35	33	33	35	35	206
2	千葉県	高守 竹次	流山市フジタカ支部	33	33	33	35	35	35	204
3	茨城県	天谷 泰幸	土浦西支部	35	33	33	33	35	35	204
4	茨城県	大竹 浩	取手かわせみ支部	33	31	33	35	35	35	202
5	長野県	公文 溪子	スポーツ吹矢ふじみ野支部	33	35	33	33	35	33	202
6	茨城県	永盛 恵	水戸双葉台支部	35	33	33	35	33	33	202
7	栃木県	大武 光子	矢板中る支部	35	29	33	35	35	33	200
8	千葉県	加藤 助勇	八街スポーツ吹矢・大東支部	33	35	35	33	33	31	198
9	茨城県	百々塚 光征	日立諏訪支部	35	35	33	33	33	31	198
10	福島県	吉田 弘	スポーツ吹矢はらまち愛好会支部	27	35	33	33	35	35	198
11	茨城県	馬場 義人	阿見本郷支部	31	33	33	31	35	35	198
12	福島県	鴨 昭榮	なこそ吹風支部	35	31	33	33	31	35	198
13	兵庫県	春木 正己	おのころ健康吹き矢支部	33	31	31	35	35	33	198
14	宮城県	小笠原 透	宮城名取が丘カーナ支部	35	35	33	31	31	33	198
15	茨城県	澤田 和之	日立諏訪支部	31	33	31	31	35	35	196
16	埼玉県	小用 五郎	スポーツ吹矢八潮花桃支部	35	29	31	33	33	35	196
17	山形県	光位 和夫	寒河江支部	35	33	31	29	33	35	196
18	千葉県	齋藤 淑子	千葉若葉梨花支部	35	35	33	33	31	29	196
19	東京都	八木沢 完治	荒川スポーツ吹矢支部	33	33	31	31	33	35	196
20	香川県	廣岡 和								



技錬磨の成果競う ~スポーツ吹矢発進・発信~

茨城

「第3回スポーツ吹矢茨城県大会」

過去最多24支部 130人超が秋の笠間に集結! スポーツ吹矢県の頂上決戦



スポーツ吹矢県のチャンピオンを決める「第3回 スポーツ吹矢 茨城県大会」(「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」主催)が10月23日、笠間市市民体育館で開催されました。昨年6月の第2回大会(20支部・約120人が参加)を上回る、24支部と2つの地域クラブから130人以上が集結。県外からの挑戦者も含めスポーツ吹矢王国の大会にふさわしい白熱の大熱戦が展開されました。

競技は男女の各10m、男女混合の8mと6mそして75歳以上の「マスターズ75」(8m)の5種目。一人6ラウンドの合計得点を競い合いました。

**10m男子は佐藤義明五段「水戸葵支部」が優勝
同支部の鶴田啓子三段が10m女子を制覇**

10m男子は、今年5月の「第5回 日刊スポーツ杯スポーツ吹矢大会 in 流山」、9月の「第3回 青柳清杯スポーツ吹矢大会」を連覇した佐藤義明五段「水戸葵支部」が202点の高得点で優勝。今年に入って絶好調の佐藤五段は、ほぼ無双の状態。

10m女子も同じく「水戸葵支部」の鶴田啓子三段が182点で制覇しました。

大きな大会で優勝実績のある実力者の大越康子五段「内原カタクリ支部」は178点で準優勝でした。

優勝の鶴田啓子三段は10m男子準優勝の「水戸葵支部」支部長の鶴田

善明五段の奥様。第5回日刊スポーツ杯、第3回青柳清杯の各10mをご夫婦で連覇した同支部の佐藤義明五段・芳江五段に続くビックなご夫婦誕生となりました。

**8mは岩見正子初段「桜川スマイル支部」が初優勝
6mは吉田寿治1級「水戸葵支部」が大会一の高得点で優勝**

8mは岩見正子初段「桜川スマイル支部」が176点で初優勝。6mは「水戸葵支部」の吉田寿治1級が204点の大会一の高得点で優勝、観客を沸かせました。

マスターズ75は百々塚光征三段「日立諏訪支部」が制覇

「マスターズ75」は百々塚光征三段「日立諏訪支部」が198点の高得点で堂々の初優勝を果たしました。

大会成績



10mの部 男子



10mの部 女子



8mの部 男女



6mの部 男女



マスターズ75 男子

【参加24支部(五十音順)】◎「あんしあ水戸中央支部」(木ノ内勇支部長)◎「潮来支部」(藤田富代支部長)◎「内原カタクリ支部」(菊池悦夫支部長)◎栃木県「宇都宮西原支部」市村吉二支部長)◎「かみなり結城支部」(石田宣久支部長)◎「古河せせらぎ支部」(佐藤義徳支部長)◎「桜川スマイル支部」(櫻井操支部長)◎「桜川ラビット支部」(大和田信太郎支部長)◎「取手かわせみ支部」(宮川功一支部長)◎「取手セントラルクラブ支部」(長嶋信二郎支部長)◎「日立諏訪支部」(百々塚光征支部長)◎「日立なごみ支部」(小黒栄一支部長)◎埼玉県「フリーダム川口支部」(下野和朗支部長)◎東京都「ペア一新百合ヶ丘支部」(手嶋英成支部長)◎「ほっこり結城支部」(石田宣久支部長)◎「水戸葵支部」(鶴田善明支部長)◎栃木県「矢板ながみね支部」(湯澤正樹支部長)◎「結城中央支部」(伊東光男支部長)◎「龍ヶ崎たつのこ支部」(石山齊支部長)◎「笠間中央支部」(山口富男支部長)◎「牛久かつばの里(中央)支部」(門脇敏夫支部長)◎「取手スカイ・フクロウ支部」(田村功支部長)◎「水戸双葉台支部」(白石栄子支部長)◎千葉県「流山市フジタカ支部」(西川敏幸支部長)

信州

「第3回信州・東信スポーツ吹矢交流会」 8支部・5同好会の73人が 秋の信濃路で交流深める

「第3回信州・東信スポーツ吹矢交流会」(発起人・顧問:有賀酉夫准師範)が10月24日、長野県小県郡青木村の青木村総合体育館アリーナで開催されました。

同交流会は上田市・小県郡地域でのスポーツ吹矢愛好者の横のつながりと絆づくりが目的。

上田市の「信州丸子支部」(井出貴久支部長)、「スポーツ吹矢上田友和支部」(柳澤近夫支部長)、「上田市かわせん吹矢の会支部」(横山和男支部長)、「塩田フレンズ支部」(酒井一博支部長)、「川西スポーツ吹矢支部」(西澤豊支部長)、長野市の「長野大豆島支部」(田中澄夫支部長)、飯山市の「いいやま雪国吹き矢支部」(小林政雄支部長)、青木村の「青木村健康スポーツ吹矢支部」(増田久義支部長)の合計8支部と5つのスポーツ吹矢同好会から総勢73人の吹矢アスリートが秋の信濃路の一大交流会に集結しました。

**長野県青木村の沓掛教育長が
「スポーツ吹矢は健康増進になる」と祝辞**

開会式では、青木村の沓掛英明教育長が「スポーツ吹矢は健康作りに役立つ魅力あふれるスポーツです。本日の交流会は地域の健康作りと交流促進の場としてスポーツ吹矢が定着していることを感じさせる」と素晴らしい祝辞で選手たちを励ました。



上田ケーブルビジョン・日刊東信ジャーナルが取材

競技は男女混合の10・8・6mの各6Rで行われました。希望者は6m的で高さ1.3mの椅子席レーンも。

各クラスの優勝・準優勝・三位のほか「飛び賞」「パーカーク賞」などの副賞もたくさん用意されました。また参加者全員に参加賞も。参加者は思う存分スポーツ吹矢を楽しみました。

当日は地元TVの上田ケーブルビジョン(UCV)と地元紙の東信ジャーナルが会場で熱心に取材、選手たちの励みになりました。

「交流会で吹矢仲間の絆が固くなった」と横山和男実行委員長

運営に奔走した横山和男実行委員会会長は、「交流会を通じ、地域のスポーツ吹矢仲間の絆が固くなりました。来年の第4回大会も、より多くの方が参加できる交流会を目指します」と、次回大会への手応えを語ってくれました。

当日は振興協会の田口貴事務局長が参加しました。



実りの秋、全国各地で2025年の心

九州

「第2回スポーツ吹矢九州大会」 前回上回る11支部・76人が九州の覇権競う

「第2回スポーツ吹矢九州大会」（一般社団法人スポーツ吹矢振興協会主催）が10月30日、熊本県御船町の御船町スポーツセンターで開催され、前回の9支部を上回る11支部が参加、愛好者を含め総計76人が秋晴れのもと九州の覇権をかけて激突しました。

今回参加したのは熊本県の御船支部（梶原光生支部長）、益城吹矢同好会支部（本山齊支部長）、熊本花園よかばい支部（緒方正利支部長）、熊本合志支部（合志明公支部長）、美里町スポーツ吹矢支部（堀口章支部長）、本荘なでしこ会支部（高濱三喜夫支部長）、鹿児島県の鹿屋中央支部（上甫木勇支部長）、鹿屋新生支部（福永一徳支部長）、鹿屋中央西原支部（上甫木みえ子支部長）佐賀県の唐津支部（村上久人支部長）、福岡県の久留米西支部（養父久徳支部長）。

競技は10m男子・女子、8m男女、6m男女、男女75歳以上のマスターZ75（8m）の5種目、各6ラウンドの合計得点で順位を競いました。

**10m男子は川添昇五段（フリー参加）が優勝!!
10m女子は平井圭子五段が初優勝!!**

10m男子の部は佐賀県の川添昇五段（フリー参加）が176点で優勝、10m女子の部は熊本県の平井圭子五段「熊本合志支部」が172点で優勝して頂点に立ちました。

**8mは野口裕樹初段
6mは細田盛一さんが各優勝**

8m男女の部は熊本県の野口裕樹初段「御船支部」が198点の大会一の高得点で優勝しました。

6m男女の部は「唐津支部」の細田盛一さんが192点で優勝しました。

マスターZ75は合志明公六段が2クラス制覇

マスターZ75は、熊本県の合志明公六段「熊本合志支部」（准師範・上



級公認指導員）が196点で制覇。合志六段は前回大会の10m男子の優勝者で2クラス制覇を成し遂げました。

『楽しくなければ吹矢じゃない』を大会で体現できた」と梶原光生支部長

大会運営に尽力した「御船支部」の梶原光生支部長は「九州各地からの温かい支援と笑顔に心から感謝しています。『楽しくなければ吹矢じゃない』という思いをみんなで体現できた素晴らしい一日になりました。これからも九州の仲間とともに、吹矢の輪を楽しく広げていきます」と力強く大会を締めました。

振興協会からは田口貴事務局長と菅村昭文広報担当が参加しました。

【再び的を狙いたい】と長期入院からカムバック

脳梗塞を克服した森川富美代六段（前回10m女子優勝者）に大きな拍手



第1回九州大会で10m女子の部を制した熊本合志支部・森川富美代六段。

その森川六段が、今大会でも再び10mの舞台に立ちました。

一昨年、突然の脳梗塞で倒れ、長期入院を余儀なくされました。懸命なリハビリを続け、今年4月にようやく練習へ復帰。そして今大会では、これまでと変わらず10mの部にエントリーし、全6ラウンドを見事に吹き切りました。

森川六段は「リハビリのとき、また仲間たちと同じ的を狙いたいという思いだけ頑張ってきました。今日、最後まで吹けたことが何よりの喜びです」と会場で復活を宣言。

見守った仲間たちから大きな拍手で迎えられました。

大会成績



10mの部 男子

優勝(中)	川添 昇 五段位	176
準優勝(左)	緒方 正利 五段位	172
第3位(右)	高濱 三喜夫 三段位	172



10mの部 女子

優勝(左)	平井 圭子 五段位	172
準優勝	加藤 洋子さん	156
第3位(右)	古川 昌子 三段位	151



8mの部 男女

優勝(中)	野口 裕樹 初段位	198
準優勝(左)	深川 ひとみ 二段位	192
第3位(右)	田中 紗子 二段位	188



6mの部 男女

優勝(中)	細田 盛一さん	192
準優勝(左)	財津 洋子 2級位	186
第3位(右)	木村 一彦さん	185



マスターZ75 男女

優勝(中)	合志 明公 六段位	196
準優勝(左)	坂口 幸人 1級位	182
第3位(右)	新井 久徳 三段位	164

岐阜

岐阜県「第3回スポーツ吹矢チャンピオンカップ」 可児・瑞浪・土岐・坂祝の4地区の67人が王者競う

岐阜県可児市近郊地区の王者を決める「第3回スポーツ吹矢チャンピオンカップ」（主催：「可児サクラ支部」、協力：「可児ばら支部」「チーム瑞浪支部」）が10月25日、可児市桜ヶ丘地区センターで開催されました。

今大会は「可児ばら支部」（加藤秋寛支部長）、「可児サクラ支部」（辻道博支部長）、「可児陽だまり支部」（中本由美子支部長）、「可児下恵土サタデーズ支部」（鬼頭岩夫支部長）、「可児下恵土ONE支部」（加藤貴通支部長）、「ぎふ・さかほぎ支部」（若井優支部長）、「御嵩4950支部」（安東英雄支部長）、「チーム瑞浪支部」（伊佐治貞春支部長）、「チームフレッシュ支部」（木村孝子支部長）、「チーム小田支部」（林克彦支部長）、「チーム土岐支部」（大野幹夫支部長）の11支部・総勢67人の吹矢アスリートが集結、前回の51人を上回る盛況となりました。

競技は6m、8m、10m（いずれも男女混合）の3部門、6ラウンドの合計得点を競い合いました。また18レーンによるチーム戦（1人3本×4R）も。

各クラスの優勝・準優勝・第3位の入賞者には賞状と賞品が贈られま

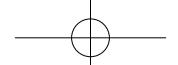


した。また飛び賞などの副賞も多数用意され、参加者からは「他支部との交流もできて楽しい一日でした」との声が多く寄せられました。

『楽しくスポーツ吹矢広めたい』辻道博支部長

主催した「可児サクラ支部」の辻道博支部長は、「今後も地域の絆を深めながら楽しくスポーツ吹矢を広めていきたい」と交流の拡大に手応えを感じた様子でした。

当日は振興協会の田口貴事務局長が参加しました。



2025 9/30 栃木県「第1回スポーツ吹矢足利大会」開催
足利市内5支部などから46名が初の大会を楽しむ

「第1回スポーツ吹矢足利大会」(「スポーツ吹矢足利大会運営委員会」主催、「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」協賛)が9月30日、足利市民武道館で開催されました。

当日は足利市内の「足利さいこう支部」(伊神千博支部長)、「足利八幡宮支部」(古澤文郎支部長)、「筑波スポーツ吹矢クラブ支部」(武井久子支部長)、「足利矢場川支部」(吉田功男支部長)、「足利小保寿支部」(重信哲三郎支部長)の5支部と「武道館吹矢クラブ」、「御厨吹矢クラブ」の二つの同好クラブから総計46人が集結、足利市初の大会を楽しみました。

競技は男女の10m、男女混合の8mと6mそして75歳以上の男女が参加する「マスターズ75(8m)」の5種目。一人4ラウンドの合計得点を競いました。会場は終始あたたかな雰囲気に包まれ、各レーンからは笑顔と声援があふれる和やかな大会となりました。

各クラスの「優勝」「準優勝」「第3位」のほか「飛び賞」「ブービー賞」など多彩な賞が用意されました。また全員に参加賞も。

「栃木県大会を足利市で開催したい」と伊神千博支部長

運営と進行を担った「足利さいこう支部」の伊神千博支部長は「次は栃木県大会を足利市で開催できるよう努力を重ねます」と栃木県内のスポーツ吹矢の発展に手応えを掴んだ様子でした。

振興協会からは田口貴事務局長と菅村昭文広報担当が参加しました。

2025 10/19 福島県いわき市で「第3回いわき市スポーツ吹矢交流会」
5支部と地域クラブ30人が福島・浜通りの覇権競う

「第3回いわき市スポーツ吹矢交流会」(「いわき市スポーツ吹矢大会実行委員会」主催)が10月19日、福島県いわき市地域交流センター田人ふれあい館で開催されました。

交流会には「なこそ吹風支部」(藤井宏英支部長)、「いわき35支部」(根本文敬支部長)、「いわき塩屋崎支部」(草野一巳支部長)、「いわきほほえみ支部」(江尻利光支部長)のほか「いわきスカイブルー支部」(四家和也支部長)が初参加、愛好者を含め合計30人が福島県浜通りの覇権を競いました。

競技は8m男子・女子、7mと6mの男女混合の4種目、一人4R合計の得点を競いました。また、くじ引きで編成されたチームによる団体戦は8点的のハラハラ・ドキドキの一発勝負で行われました。

優れた基本動作に「スポーツ吹矢振興協会賞」も

表彰は「優勝」「準優勝」「第3位」だけでなく「パーフェクト賞」や「飛び賞」も。さらに振興協会が優れた基本動作の選手に対し「スポーツ吹矢振興協会賞」を贈呈しました。

参加者からは「支部の垣根を越えて仲間と競い合えたことが何より嬉しい」「またこの会場で再会したい」の声が相次ぐなど楽しい一日になりました。

藤井支部長は「吹矢を通じた交流の輪をさらに広げ、より多くの方に楽しんでいただける大会に育てたい」と今後の大会開催に手応えを感じていました。

振興協会からは堀井達矢普及部長が参加しました。



社会貢献の先頭に立つなでしこは文武両道
スポーツ吹矢は「自分を見つめ直す時間」
中谷 純子 六段 (千葉県) 上級公認指導員

今年2月24日、7都県から145人が参加して盛り上がった「第1回千葉・茨城スポーツ吹矢広域大会in成田」。なでしこは同大会を協賛した「NPO法人成田スポーツアカデミー」理事長として関東初の広域大会を成功に導いた。

地域住民のスポーツの日常化を目指し、世界に通用するスポーツ指導者の育成などに努めるなでしこは文武両道のスーパークリーナーである。

千葉県出身。大学で寄生虫とマラリアの研究者として活躍。高齢者・障がい者支援事業やバイオマス発電などの会社も立ち上げた。インドには小学校を五つも建設して感謝された。これまでに取得した資格は、なんと200以上。そして4児の母でもある。

そんな、なでしこがスポーツ吹矢に夢中になったのは「誰もが楽しめるスポーツ」でありながら「奥が深い」から。スポーツ吹矢は「呼吸と精神統一を通じた自分を見つめ直す時間」と言う。

学生時代、陸上部で培った集中力もあってメキメキ実力を上げ、自ら「成田プロガンクラブ(BGC)支部」も立ち上げた。そして今年7月には山形県の國井良幾師範のもと、わずか2年足らずで六段に合格。10月には上級公認指導員の資格も取得した。

文武両道のなでしこのスポーツ吹矢上達の極意は「他人と比べない」。有言実行のなでしこの次の目標は七段合格。スポーツ吹矢を社会貢献にも役立てるなでしこに大きなエールを送りたい。

(振興協会広報担当 菅村昭文)

2025 7/30 千葉県市原市「市原やよい会支部」が小学校2校で体験会開催
37人の学童の子供たちがスポーツ吹矢の魅力を堪能
「また来てほしい」「ジュニアのコースに入りたい」の声相次ぐ

千葉県「市原やよい会支部」(湯浅美佐夫支部長)は、家庭の事情等で夏休みを小学校で過ごしている学童の子供たちの夏休みの思い出づくりのため、スポーツ吹矢の体験会を開催しました。

この体験会は、国府小学校児童クラブの学童支援員をしている支部メンバーからの要望があり、7月30日(火)は同市立市東第一小学校児童クラブ、続いて8月1日は同市立国府小学校児童クラブで開催されました。市東第一小学校では13人、国府小学校では24人の児童が参加しました。



当日は同支部の八木忠司公認指導員をはじめ、支部員が協力しジュニア用の筒を用意。安全面にも配慮しながら、基本動作の丁寧な指導とともに、参加賞や飛び賞などで最後まで楽しく取り組めるよう工夫しました。両会場とも、はじめに戸惑っていた子どもたちも次第にコツを掴み、高得点を出して大喜びするなど全員がスポーツ吹矢の魅力を堪能しました。

学童支援員方も「自分たちも吹いてみたい」と体験

終了後には学童支援員から「自分たちも吹いてみたい」との要望があり、支援員全員が体験を楽しむひと幕も。両校の子供たちからは「ジュニアコースがあれば入りたい」「また来てほしい」といった声がたくさん寄せられました。

「若い世代への働きかけ大切」と湯浅支部長

湯浅支部長は「スポーツ吹矢が広く愛されるようになるためには若い世代への働きかけが大切です。今回、その可能性を再確認する機会になりました」と体験会の成功を喜んでいました。



道場破りで支部の垣根を越える
「ザ・チャレンジ」で磨かれる技と心

山形市江南公民館で10月17日、「ザ・チャレンジ」が開催されました。

「ザ・チャレンジ」とは支部間にによる「道場破り」のような交流対戦で、支部の活性化と技能向上を目的にスタート。スポーツ吹矢の健全で前向きなイメージに合わせ、この名が付けられました。

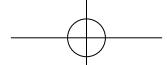
今回は、チャレンジャーとして「チームしらたかプラス支部」(金田正支部長)の紺野徹五段が「山形やませみ支部」(國井良幾支部長)を訪問。やませみ支部からは初段の3人が挑み、6ラウンドの得点を競いました。

結果は186点対178点で紺野五段が見事勝利。対戦後には六段試験にも臨み、流れるような基本動作や6ラウンドを通じた集中力、そして腹式呼吸の大切さを実演する場となりました。

特に、吹矢の際に筒先が一切動かないその姿に、見学していた支部員からは驚きと感嘆の声が上がり勝敗を超えた充実感と学びに包まれる一日となりました。

〈対戦ルール等〉
・チャレンジャー vs 対戦者(5人以内)とも、男女、段級位、自薦、他薦を問わない。
・競技は6ラウンド制とし、合計得点により勝敗を決定する。
・対戦者側は、参加者の中で最も高得点の者を勝者とする。

スポーツ吹矢
なでしこ列伝



2025 群馬県「利根保健生協」の12支部が「第1回 スポーツ吹矢交流大会」開催 10/11 生協創立70周年を記念、「健康」「絆」テーマに56人が交流の輪広げる

群馬県「利根保健生活協同組合」(大塚隆幸理事長)の12支部が10月11日、「第1回スポーツ吹矢交流大会」を利根中央病院研修室で開催しました。同組合創立70周年記念事業の一つとして開催したもの。同組合の地域支部は14支部に広がっていますが12支部が一堂に会しての大会は初めて。当日は来賓の大塚理事長が見守る中、56人の選手が初大会の開催を喜び、日頃の心技練磨の成果を競い合いました。

競技は男女混合の8mと男女別の6mで行われ、各4ラウンドの合計得点によって順位を競い合いました。

8mは小堺美代子初段が116点で優勝。6m男子は小林宏治さんが128点で優勝、6m女子は鶴見すみ江さんが126点で優勝しました。

理事長賞、振興協会賞のほか各クラスの上位入賞者には賞品が贈られました。とくに全員に用意された新鮮な野菜や林檎、リンゴジュースの参加賞は大好評。お互いの健闘をたたえ合うなど会場では温かな交流の輪が広がりました。

今回の大会は「健康」と「絆」をテーマにした同生協創立70周年を彩る特別な催しとなりました。

「楽しかった」「また次回も出たい」

参加者たちは「楽しかった」「また次回も出たい」と笑顔で語り、スポーツ吹矢が着実に地域に根付いていることを感じさせた一日となりました。

振興協会からは堀井達矢普及部長が参加しました。

「利根保健生協」の地域支部は以下の通り

- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部支部
- ◎利根保健生協健康吹矢サークル赤谷湖支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部沼田中支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部新巻支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部みなかみ歯科支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部利根歯科支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部利根南支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部沼田北支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部多那支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康クラブ薄根支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康クラブ白沢支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢健康倶楽部昭和支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢榛名町上州真田六文錢支部
- ◎利根保健生協スポーツ吹き矢上州真田の里支部

利根保健生活協同組合は群馬県の沼田市並びに利根郡、吾妻郡一円、渋川市の約3万人の組合員が支える生活協同組合です。
病院、医科と歯科の診療所からなる医療事業、介護老人保健施設、通所リハビリステーション、訪問看護ステーションからなる介護事業。保育事業、住宅事業、配食事業を通じて地域に欠かせない生活協同組合です。

スポーツ吹矢を理事会で紹介!!

「健康をつくる。平和をつくる。ここ豊かなまちをつくる。」理念が振興協会の理念と一致。スポーツ吹矢を理事会で紹介して地域の健康対策に取り入れています。

2025 千葉県「スポーツネットちば スポーツ吹矢交流会」 10/11 県内8支部の40人が「8点的」で交流深める

「スポーツネットちば スポーツ吹矢交流会」(主催「千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」「千葉県広域スポーツセンター」主催、「総合型NPO法人成田スポーツアカデミー」主管、「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」協力)が10月11日、千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所2階大ホールで開催されました。

千葉県は毎年10月を「スポーツ推進月間」と定め、県民が運動に親しみきっかけづくりを進めており、その一環としてスポーツ吹矢をはじめ、テニス、ボッチャ、フットサルなど地域クラブが体験会や交流会を開催。スポーツ吹矢も昨年に引き続き2回目の開催となりました。

当日は「千葉若葉桐花支部」(加藤久明支部長・准師範)、「千葉若葉梨花支部」(齋藤淑子支部長)、「船橋サザンカ支部」(永尾博次支部長)、「東習吹矢会支部」(広渡康代支部長)、「市原アローズ支部」(島田正秋支部長)、「土気スポーツ吹矢クラブ土気支部」(延原通夫支部長)、「市原やよい会支部」(湯浅美佐夫支部長)、「成田ブローガンクラブ(BGC)支部」(中谷絢子支部長)の8支部から40人が参加しました。

「千葉県スポーツクラブ連絡協議会」の小林千穂会長が選手を激励



開会式では「千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の小林千穂会長が「スポーツ吹矢は地域をつなぎ、人を元気にする素晴らしい競技です。どんどん交流の輪を広げてください」と挨拶して選手たちを激励しました。

競技前の加藤久明准師範によるミニ講座「スランプからの脱出法」には参加者が熱心に耳を傾けました。

競技は8点的を使用した男女混合の8mと6mの個人戦、各4ラウンドの合計得点で順位を競いました。席次ごとに編成されたグループによる団体ミニゲーム(各1ラウンドの合計点)も行われ、会場は笑顔と応援の声があふれる楽しい雰囲気となりました。

各クラスの「優勝」「準優勝」「第3位」には表彰状と副賞が贈られました。「ブービー賞」も用意されるなど和やかな表彰式となりました。

運営を担った「成田ブローガンクラブ(BGC)支部」の中谷支部長は「多くの初参加者が緊張しつつも交流を深めました。他支部との新たな出会いもあり、地域での小規模大会開催の意義を改めて感じました」と交流会の成功を喜んでいました。

振興協会から田口貴事務局長と菅村昭文広報担当も参加しました。

訃報のお知らせ

岐阜県中津川市の「ぎふ中津川支部」の清水錠治准師範(五段・上級公認指導員)が9月6日にご逝去されました。享年92歳でした。

清水准師範は中津川地区のスポーツ吹矢の功労者であり、岐阜県スポーツ吹矢界のシンボル的存在でした。

謹んで哀悼の意を表します。



わくわく

11

No.64 | 2023



神奈川県の「はやぶさ相模原支部」がミニコミ誌に紹介されました。

神奈川県相模原市の「東林ふれあいセンター」が毎月発行するミニコミ誌『とうりん倶楽部』で振興協会の「はやぶさ相模原支部」(樋口巧子支部長)が紹介されました。

誌面では支部の発足経緯や活動目標、地域の皆さんへのメッセージなどが掲載されています。樋口支部長は「今年の5月で支部結成から10年を迎えた。10年目にして初めての掲載です。これをきっかけに、より多くの方にスポーツ吹矢を知っていただけたらうれしいです」と喜んでいます。

創始者の夢を地域で引き継ぐバリバリのアスリート 日本神話の舞台でスポーツ吹矢復興の新しい神話紡ぐ

高根俊夫 六段位 (島根県)

島根県総支部長・准師範・上級公認指導員

サムライは振興協会発足と同時に島根県出雲市に地域支部「斐川エアポート支部」を立ち上げてくれた。

それだけではない。

スポーツ吹矢の創始者青柳清の夢を地域からも広げようと47都道府県で振興協会最初の県総支部長に就任、体験会など普及活動を重ね、同県の地域支部を7支部まで増やした。

もともと、バリバリのアスリート。

陸上競技の華である100m走では島根県代表として国立競技場で走ったことも。肺活量は今でも4000mlを誇る。

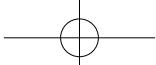
陸上競技ばかりでなく島根県のドッジボール、スポーツチャンバラ両協会の設立など地域のスポーツ振興にも貢献した。

今は「吹矢のおかげで健康になれる。絆も広がる」と毎日30分の基本動作の練習は欠かさない。今年6月の段位級位試験では204点(6R)を記録「基本を徹底すれば点数は必ずついてくる」と手本を示した。

県総支部長としてこれまでに育てた上級公認指導員は6人。普及活動は小学校から中学校にも広がっている。日本神話の舞台にスポーツ吹矢再興の新しい神話が生まれそうである。

スポーツ吹矢 サムライ列伝





5月に振興協会の新規支部として誕生した「相模原緑三井寺小屋支部」（古川秀秋支部長）。そこで嬉しいニュースがありました。石井一美三段のお母さま、中本アヤさん（98歳）が、このたび見事2級に合格！！

そして10月20日の「白寿（99歳）を迎える前に2級合格」という親子に座りながらの挑戦でしたが、毎日の練習の成果は自覚ましく仲間の誰よりも安定した成績を収めていました。

一美さんの「母と一緒に練習したい」との希望から、支部発足と同時に参加された中本さん。椅子に座りながらの挑戦でしたが、毎日の練習の成果は自覚ましく仲間の誰よりも安定した成績を収めていました。

そして10月20日の「白寿（99歳）を迎える前に2級合格」という親子に座りながらの挑戦でしたが、毎日の練習の成果は自覚ましく仲間の誰よりも安定した成績を収めていました。

中本アヤさん

5月に振興協会の新規支部として誕生した「相模原緑三井寺小屋支部」（古川秀秋支部長）。そこで嬉しいニュースがありました。石井一美三段のお母さま、中本アヤさん（98歳）が、このたび見事2級に合格！！

そして10月20日の「白寿（99歳）を迎える前に2級合格」という親子に座りながらの挑戦でしたが、毎日の練習の成果は自覚ましく仲間の誰よりも安定した成績を収めていました。

中本アヤさん



「相模原緑三井寺小屋支部」 中本アヤさんが 98歳で2級合格! 「白寿」を前に親子の願い叶う



弓道3段、発明家の顔も
矢筒兼用矢立てで特許
弓道の矢筒に三脚を取り付け、矢を立てるまま収納できる「矢筒兼用矢立」を発明。昨年8月には特許も取得しました。

もともと弓道3段の実力者であり、合志支部長も「最初の1本から力強かつた。腹筋の強さや練習姿勢に驚かされた」と感服。その探究心はスボーツだけにとどまらず、努力と創意工夫を重ねる三嶋恒雄さん

の姿は、多くの会員に新たな挑戦への勇気を与えてくれそうです。

新潟県新発田市の「新発田市住吉コミュニティセンター」で8月1日、公認指導員認定試験が行われ、2人の公認指導員が誕生しました。

「熊本合志支部」三嶋恒雄さんが90歳で初段合格！地元紙・熊本日日新聞も紹介

人生の大先輩が
相次いで快挙達成!!

新潟、東京で（上級）公認指導員認定試験開催
上級公認指導員2人、公認指導員10人が新たに誕生

斎藤 栄作 三段
(新潟県)石原 昇 三段
(東京都)南波 多恵 四段
(千葉県)秋田 哲夫 三段
(福島県)高木 誠 四段
(千葉県)

公認指導員

中谷 純子 六段
(千葉県)

上級公認指導員

清水 成子 五段
(千葉県)

10月2日には振興協会主催による上級公認指導員・公認指導員認定試験が行われ、2人の上級公認指導員と7人の公認指導員が誕生しました。当日は振興協会の現最高段位である埼玉県の下野和朗七段（師範・上級公認指導員）が講師および試験官として指導にあたり田口貴事務局長がサポートしました。

また新潟県見附市の「見附市今町公民館」で8月25日、公認指導員認定試験が行われ、1人が公認指導員に認定されました。

段位・級位認定者

新たに以下の方々が「段位・級位試験」に合格されました（申請順／敬称略）

2025.7.24~2025.10.23まで

認定された皆様!
おめでとうございます!!

段位認定者

【六段位】

田中 郁衣、赤澤 延枝、紺野 徹

【五段位】

竹村 聰一郎、松永 勉、田中 澄夫、二本松 国男、二本松 和子、清水 美夫

【四段位】

高橋 充男、高木 誠、赤坂 光三、秋田 哲夫、山川 佳純

【三段位】

石塚 千枝子、安保 厚、渡部 佐知子、伊藤 文隆、石川 一美、参宮 学、平澤 泰作、大槻 譲、池田 久美子、杉村 登美子、古屋 勇、細田 満壽男、吉澤 廣子、森 明美

【二段位】

矢島 邦子、鹿貫 智子、江口 泰輝、本木 聰、江口 升子、上野 恵規、小原 隆一、藤 憲樹、河原 規子、本炭 洋子、石毛 和一、寺島 總子、大武 光子、福島 初枝、岩下 佐武郎、小坂井 哲夫、谷本 均、大北 芳幸、吉田 勝也、安井 美代子、金子 友子、伊深 法子、樋場 勲、鈴木 正人、小野 福美

【初段位】

的場 愛子、的場 クリ子、横島 彰、山田 恵美子、池澤 茂、北川 剛永、岸 治、佐美 三 恵子、増永 節子、渡邊 洋子、平本 公男、奥村 紀子、本石 貞一郎、濱島 政広、小林 雅子、稻森 みゆき、柳瀬 百合子、杉山 康子、加藤 祥子、岡 初枝、中島 芳野、佐藤 正竹、佐藤 正三、伊藤 薫、平林 和憲、増田 安則、高橋 光行、新谷 美草、榎原 功、相原 知里

級位認定者

【1級位】

長島 潤一、紅谷 のぶこ、北川 志保、世古 公郎、岡川 太十、吉田 寿治、阿久津 孝雄、武田 修一、水野 富己子、小日向 幸枝、黒川 和子、関 真理子、大畠 未子、細田 美紀、横田 律子、岡田 洋子、高橋 しげ、菊地 文子、西元 朝枝、加藤 修三、藤井 知昭、山之口 熱、住谷 宏、茂木 行雄、松葉 栄一、倉澤 昭三、野口 智恵子、小西 恵子、矢作 陽子、財津 洋子、井筒屋 志寿子、藤井 由美子、吉村 妙子、菅原 妙子、花輪 信彦、伊藤 八恵、山崎 絹子、渡野 誓子、風間 ますみ、高橋 みね子、金井 とよ子、関 文彦、岩田 明、中島 正紘、水本 瑞紀代

【2級位】

木崎 成美、森 寛史、大賀 智加子、田中 弘、望月 文昭、磯山 和枝、木村 吉男、五十嵐 美枝子、小笠原 徳次、佐藤 哲夫、小谷部 牧子、武氣 直子、森島 茂、小澤 鉄雄、村木 初美、岩井 明美、佐々木 千代子、大久保香津子、加藤 紀明、鈴木 恵美子、大石 真智子、高橋 淳子、池田 俊郎、名取 久子、中村 友行、木村 恵美子、森直幹、秋元 久子、橋本 友紀子、太田 文子、服部 初枝、石原 浩毅、石原 顯子、杉田 猛、杉田 みづ江、阿久津 美咲、阿久津 結音、森田 良雄、中峯 美保子、内木 健次、土倉 未子、加藤 俊雄、宮島 キクイ、松本 和子、津志田 光子、石井 二三男、手塚 博、永島 勇司、相澤 智子、甲斐 智那子、中川 保博、宮川 芳枝、中本 アヤ

【4級位】

堀江 隆行

マスターズ段位認定者

【マスターズ六段位】

鈴木 洋紀子

【マスターズ四段位】

島田 儀一

【マスターズ二段位】

鈴木 みよ子、西田 由美子

【マスターズ五段位】

山口 公子

【マスターズ三段位】

小宮 東男、梅村 尚美

【マスターズ初段位】

高橋 しげ、菊地 文子

お詫びと訂正

会報誌・第21号において間違いがありました。

● 10頁「公認指導員」段位の間違い

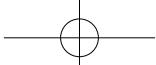
誤 生井 春江 三段 → 正 生井 春江 四段
(茨城県)

● 10頁「段位・級位認定者」四段位のお名前の誤り

星野 → 星野 豊子

訂正してお詫びいたします。

スポーツ吹矢物語は
お休みします。



「一般社団法人スポーツ吹矢振興協会」へ 全国で地域支部続々誕生中 !!



群馬 嫦恋支部 佐藤 幸光支部長

集中力と腹式呼吸を意識して技術の向上図る
「気楽に楽しく健康作り」段級位試験や大会にも挑戦

「気軽にできて健康づくりに良い、お金も掛からない」ので支部を設立しました。会員数は設立時の7人から現在10人に増えました。

練習は毎週木曜の午後、会員が所有する多目的施設で5本×6Rを行い、集中力と腹式呼吸を意識しながら技術の向上を図っています。

「気楽に楽しく健康づくり」がモットー。休憩時間には世間話をしながら親睦を深めています。

支部設立から半年が経ちましたので、皆で段級位試験や大会に参加し、次の目標に向かって楽しみながら挑戦できればと思っています。



埼玉 戸田パル吹矢クラブ支部 大山 義信支部長（四段位・公認指導員）

他団体から会員本位の振興協会へ
「楽しくなければ吹矢じゃない」実践、新たな仲間増やす

長きに渡り他団体で活動していましたが、入会金・年会費無料や公認指導員への配慮といったシステムに魅力を感じ、5人で新たに独立し再出発を決意。スポーツ吹矢振興協会で活動をスタートしました。

発足間もないですが、手探りながら週1回（日曜）練習を重ねています。長年の仲間との活動で雰囲気は和やか、創業者の青柳清さんの「楽しくなければ吹矢じゃない」を実践中です。

今後は体験会の開催や大会参加を目指し、新たな仲間を増やす努力を続けていきます。



長野 長野シナノキ支部 高頭 周一部支部長（四段位・公認指導員）

公民館の催して活動発表、体験会も
「楽しく健康で元気よく」毎月ミニ競技会開催

支部名「シナノキ」は、信濃の語源ともいわれる長野市の木の名に由来します。練習は毎週木曜の午後に行っており、他サークルとの交流会などでも親睦を深めています。

地域との繋がりを大切にし、公民館の年一回の催し「学びフェスタ」で活動を発表するほか、体験会を開きスポーツ吹矢の普及に努めています。サークル内では「楽しく健康で元気よく」をモットーに毎月ミニ競技会を開催。若干の賞品を用意して意欲を高め、基本動作を中心に技術力の向上を目指しています。



一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 山形 チーム平野支部
金田 正支部長（三段位・公認指導員）
「なんとかさんなね！」と長井市に新支部設立
ユニフォームを作成、全員が段位取得を目指し奮闘中

私が支部長を務める「チームしらたかプラス支部」は山形県白鷹町で活動しています。隣の長井市には人口が倍もあるのに支部がなく、「なんとかさんなね！（なんとかしなければ）」と平野地区の老人会を訪ね、支部を立ち上げました。

毎週木曜（13:30～15:00）に練習を行い、1級・2級中心のメンバーが段位取得を目指して奮闘中。所作の美しさに加え点数にもこだわり、支部結成後は市の花『あやめ』にちなみ紫色の文字をあしらったユニフォームも作成。今後は会員増加と地域に根差した活動で、活気ある支部を育てていきます。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 栃木 足利小俣寿支部
重信哲三郎支部長
足利市5番目の支部、メンバーの長寿願って「寿」
20人全員が「全国一斉記録会」参加、最高齢は90歳

約12年前に吹矢愛好会として活動を開始。「足利さいこう支部」の伊神千博支部長の積極的な勧めにより、足利市内5番目の支部として設立しました。名称は会員の長寿を願って「寿」を採用。練習は毎週月曜・木曜の午前中に小俣公民館で行っています。前半はゲーム形式、後半は基本競技で計8ラウンドを実施。毎月成績を集計し、会費を還元する形で優秀者に賞品を授与しています。

現在20人が在籍し、平均年齢は約80歳（最高齢は90歳の卒寿）。冗談や笑いにあふれる和やかな雰囲気で活動。健康第一を掲げ、全国一斉記録会に全員参加し、上位入賞を目指します。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 埼玉 仲町吹矢クラブ支部／一吹会支部
堀 義明支部長（三段位・公認指導員）
年2～3回支部大会開催、和気あいあいと親睦も
五段3人、公認指導員1人、会員増やしながら有段者育てたい

10年前、さいたま市浦和区の公民館だよりで「スポーツ吹矢」を知り練習に参加。5人の仲間でスタートしました。

現在は「仲町吹矢クラブ支部」と「一吹会支部」の2支部で、週2～4回、さいたま市浦和区の仲町公民館で練習を行っており、年2～3回の支部大会も開催しています。両支部とも年齢に関係なく和気あいあい、会員の親睦にも積極的。春はお花見、夏は暑氣払い、そして冬は忘年会を行なうことで吹矢談義に花を咲かせています。

現在、五段が3人、公認指導員が1人なので、今後は会員を増やしながら、有段者を育てていきたいです。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 埼玉 吹矢つばきみね支部
伊深 法子支部長（初段位）
サークルから振興協会加入で一体感高まる
自分のペースで昇段めざしながら楽しく健康的に活動

公共施設での体験教室をきっかけに有志で発足したサークルが原点。初めはカメラの三脚を改良して的台にするなど工夫して楽しんでいましたが、現在は会員も増え、備品や会則も整い振興協会にも加入し、一体感が高まっています。練習は毎週土曜（13～15時）、所沢市椿峰コミュニティ会館で実施。年度末には総会を兼ねたゲーム形式のレクリエーションを行い、会員の励みとなるパーカーフェクト賞を新設。どんな小さなことも全員で話し合って決定し、透明性を大切にしています。会員一人一人が自由に意見を出し合い、自分のペースで昇段を目指しながら、楽しく健康的に活動しています。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 千葉 千葉若葉梨花支部
齋藤 淑子支部長（五段位・上級公認指導員）
スポーツ吹矢大好きな実績豊富なメンバー
健康第一でスポーツ吹矢の楽しみの輪広げたい

「スポーツ吹矢が大好きです!!」と言うメンバー7人が集まり2019年4月設立。これまで千葉市や千葉県大会への参加を踏破しましたが、今年の4月、支部メンバーの総意を以って振興協会に入会しました。

練習は①毎週水曜が鎌取コミュニティセンターで2時間②第1・3火曜は緑いきいきプラザで2時間（※誰でも自由参加）。認定距離の競射会、7・5・3狙いのサイコロゲームやビンゴゲームを楽しんでいます。平均年齢72歳ですが比較的若い世代の人も。今後も健康第一でスポーツ吹矢の楽しみの輪が大きくなるように支部メンバーと練習に励みます。

一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 新潟 柏崎スター MAIN支部
横田 雅典支部長（六段位・上級公認指導員）
「スポーツ吹矢式呼吸法」による健康作りに励む
温かく和気あいあい「7点」の喜び重ね合う

気の置けない仲間同士で「楽しくスポーツ吹矢をしたい」との思いから支部を設立しました。

「スポーツ吹矢式呼吸法」による健康づくりを第一に、月に数回、2時間ほど練習しています。

練習中は和やかな会話が弾み、オフ会では歌の披露なども。少人数ならではの温かく和気あいあいとした支部です。

吹いた5本の矢が上や下、右や左へと花火のように開くことがあります。的の中央「7点」に当たった時の喜びは格別です。その嬉しさを重ねられるよう、これからも練習を続けていきたいと思います。

高知県に初の新規支部誕生
一般社団法人スポーツ吹矢振興協会 高知 岩村支部
野村 干城支部長（六段位・上級公認指導員）
千利休の教え手本に、おおらかでアットホームな稽古心掛ける
近隣の支部や個人会員と月例会のグループ組織したい

吹矢は私にとって「立禅」であり、的は心を映す鏡。気持ちが乱れれば矢も乱れます。一矢ごとの緊張を集中力に変えるためには、正しい姿勢と呼吸法、そして自信が欠かせず、その稽古は人生の拠り所です。そんな吹矢の普及をしたいと思っています。

稽古始めには6・8・10mを各1ラウンド吹き、距離ごとの照準や呼吸の一一定を学び、初心を忘れぬよう努めています。千利休の「稽古とは一より習い十を知り、十よりかえるもとのその一」を手本に、おおらかでアットホームな稽古を心がけ、今後は近隣県の支部や個人会員で月例会のグループを組織できたらと考えています。



新年のご挨拶 & 2026新春8点的スポーツ吹矢大会 参加者大募集

【開催日時】 2026年1月14日(水) 午前9時30分受付開始
開会10:00～終了13:15

【会場】 中央区立総合スポーツセンター サブアリーナ(地下2F)
東京都中央区日本橋浜町2丁目59-1

【募集人数】 80名(先着順)

【競技種目】 8m、8点的×6R (240点満点)
(段位級位に関係なく、すべての参加者が8m)

【参加資格】 スポーツ吹矢振興協会会員。段位級位問わず。

※会報、HP等に名前、写真掲載不可の方は、参加をお見送り下さい。

【参加費用】 2,000円／1人(徴収方法は、事前振込)

※申込受付後、大会書類とともに参加費振込用紙、練習用8点的紙5枚を、お送りさせていただきます。

【申込期間】 2025年12月1日(月)13:00～2025年12月23日(火)17:00まで(先着順)
振興協会HPより専用申込用紙を出力の上、必要事項をご記入し、FAX、E-mail、郵送にてお申し込みください。



参加者全員に参加賞
ミニゲーム大会、楽しさ満載！
たくさんのご参加、お待ちしています！

「一般社団法人 スポーツ吹矢振興協会」事務局
〒103-0006
東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル2F
TEL 03-6206-2673 FAX 03-6206-2674
E-mail / info@sports-fukiya.jp

【大切なお知らせ】 スポーツ吹矢用具価格改定のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
またいつも弊社商品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

この度、誠に不本意ではございますが、2025年11月25日(火)より、スポーツ吹矢用具の価格を改定させていただくこととなりましたのでお知らせいたします。

ご承知の通り、昨今の原材料費ならびに物流コストの高騰が続いているため、弊社では2020年1月より価格の維持に努めてまいりましたが、従来の価格を維持することが困難な状況となりました。

日頃よりご愛顧いただいているお客様に、ご負担をおかけすることを大変心苦しく感じておりますが、此度の改定につきまして何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これからも社員一同一層努力してまいりますので、今後ともご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社ダイセイコー / ピックサクセス

価格改定後の用具カタログにつきましては、ピックサクセスまでお問い合わせください。

【新商品】グラスファイバー1本筒 685

グラスファイバー製の筒です。

創業以来最重量の685gの筒となります。

「さらに！安定感のあるもっと重い筒が欲しい！」という皆様からの多くのお声にお応えし、販売を開始しました！

(マウスピース・24φ保護キャップ付)

長さ：約120cm 重さ：約685g 内径：約13mm 外径：約24mm



50本限定販売

¥24,500(税込)

【お問い合わせ】ピックサクセス TEL:03-3527-2104 FAX:03-3527-2105 受付時間：9:00～17:30(土日・祝祭日を除く)

期間延長!! 今後2年間いただきません!!

上級公認指導員・公認指導員
2025～2026年度
「資格維持費」2年間0円

年会費撤廃します!!

新規入会者・現会員

入会費・年会費 0円

吹矢爱好者ならどなたの入会も大歓迎。他団体でお持ちの段位、級位、資格、役職も同待遇で認定します。

5人集まれば新規支部が作れます!

新規支部全国大募集!!

なんと!ワンタッチ的スタンド1台
NEW矢5ケースを新規支部ごとにプレゼント

入会特典

ピックサクセスの吹矢商品、
1度に限り20%引き。入門セットも
会員価格で購入できます



今日も吹矢日和

編集後記

事務局長 田口 貴



- ◎今年は秋らしい秋で、東京の街路樹の銀杏も黄色に色づきとてもきれいです。気づけば、来月はもう12月。秋の活動も終盤を迎えました。
- ◎3シーズン目を迎えた「秋の記録会」の参加者は、なんと1,478人。初年度の秋は1,174人、そして2024年の昨年秋は1,233人。たくさんの皆様にご参加いただき、事務局一同、驚いています。
- ◎着実に会員数も増え続け6年目にして6,360名(11/3現在)。年間1,000名増を目標とする7年目を迎える来年は7,000人を確実に超えます。支部数も364支部。0からを考えると夢のようです。
- ◎全国各地に会員が増えるに従い、本当に皆様のおかげで忙しくなり嬉しい悲鳴です。ここ1～2ヶ月も、各地で大会が開かれ、私も栃木、茨城、千葉などの関東はもとより、長野、岐阜、島根、そして熊本にまで伺わせていただきました。それでも行けなかったところもあります。
- ◎これだけ活発にご活動いただき、心より感謝いたします。
- ◎この秋に、またたくさんの指導員も誕生しました。スポーツ吹矢の振興に力を貸していただき、どうぞよろしくお願いします。
- ◎これから寒くなります。体調にはくれぐれも注意しながら、スポーツ吹矢をご一緒に楽しんで参りましょう。

私の日々の活動を紹介するホームページ内のブログ「今日も吹矢日和」も引き続き、ご愛顧のほどよろしくお願いします。



お問い合わせ

TEL 03-6206-2673(事務局)
★たくさんのお問い合わせ、お待ちしています!